

マイナビ『2017年度(2018年卒)新卒採用・就職戦線総括』を発表 ～ 広がるインターンシップと、企業・学生ともに奔走した3月が大きな特徴に ～

株式会社マイナビ（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：中川信行）は、2018年卒業予定の学生を対象とする、企業の採用状況と学生の就職活動状況および今後の展望などをまとめた『2017年度（2018年卒）新卒採用・就職戦線総括』を発表しました。総括資料の中から一部を抜粋してご報告申し上げます。

※「2017年度（2018年卒）新卒採用・就職戦線総括」の詳細は、
『新卒採用サポネット』（<https://saponet.mynavi.jp>）で公開しています

① インターンシップの実施状況 振り返り

- 企業のインターンシップ実施率は3年間で7.4%上昇し、全体では37.6%、上場企業では72.2%となった。学生の参加率（経験割合）も65.2%と、5年連続で増加し、2015年卒（32.7%）比で倍増した。
- インターンシップに参加した学生の4人中3人（75.8%）が、参加した企業の採用選考を受験したことがあると回答。受けた理由は「元々志望企業だった」だけでなく、「企業の業務内容、雰囲気が合った」や「人事担当者や社員の印象が良かった」が上位理由として挙がり、企業認知や採用広報（教育）の効果が分かる結果となった。

② エントリー～面接開始以降の活動

- 選考活動開始前までの学生の活動量は全体的に減少した。学生がエントリーした平均社数は、この10年で最も少ない結果となった（3月から7月までの5カ月累計＝40.0社 / 前年比：5.7社減）。
- 面接受験社数（11.6社）は前年より微減した一方、内々定を受けた社数（1.9社）は微増した。結果として学生は効率よく活動し、前年並みもしくは前年以上の企業から内々定を受けたといえる。
- エントリー、個別企業セミナー、ともにこれまで以上に3月に集中した。3月の存在感がますます増し、企業・学生ともに奔走したことが、今年度の就職活動の大きな特徴に。
- 100日に満たない広報活動期間の中、WEBセミナーの利用企業は5年前の10倍近くに増加した（2017年「マイナビWEBセミナー」利用社数＝857社）。学生との接点を広げる取り組みとして今後ますます活用企業が増加することが予想される。

③ 内々定状況と2017年度（2018年卒）採用のこれから

- 内々定率は早々に上昇し6月末には73.3%、7月末には78.9%となり、前年より1カ月程早く進行した。前年よりさらにハイスピードに進捗したことも、今年度の大きな特徴といえる。
- 内々定率の上昇に伴い、活動継続学生も早々に減少した。企業の採用終了時期については7月までに終了するとした企業が4割を超える一方、10月以降に終了予定の企業もやや増加し、採用活動の明暗が分かれる結果となった。